

# 教育委員会会議録（6月定例会）

## 日 時

平成28年6月30日（木）  
午後3時30分から午後4時55分まで

## 場 所

教育プラザ ギャラリーB室

## 出席委員

委員長	森嶋 鎮一郎
委員長職務代行者	上村 由美
委 員	花田 和郎
委 員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

## 委員以外の出席者

教育部長	鈴木 透
総務課長	清水 透
学校施設課長	関根 博之
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	内山 信弘
学務課課長	木下 俊雄
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	志藤 忠博
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
指導課課長	佐川 章子
郷土博物館課長	助川 正則
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課副参事（兼）庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長（企画員）	下村 彰彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主事	宇佐美 亮

## 議 事

### 1 報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

### 2 議 案

議案第 23 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

議案第 24 号 日立市社会教育委員の委嘱について

議案第 25 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

議案第 26 号 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について

### 3 その他

- (1) 平成 28 年第 2 回市議会定例会について
- (2) 第 6 次行財政改革の推進状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）について
- (3) 平成 27 年度審議会等の開催状況について
- (4) 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について
- (5) 社会教育委員会議からの提案書について
- (6) 学校プール開放事業について
- (7) 学校評議員の委嘱状況について
- (8) 教育振興大会の開催について
- (9) 市立図書館各館の「子育て支援コーナー」開設について
- (10) 平成 28 年度学校給食夏休み親子見学会について
- (11) その他
- (12) 次回の教育委員会の日程について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

午後3時30分

委 員 長

それでは、只今から6月の教育委員会定例会を開催します。  
本日は、傍聴希望者が1名おります。  
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

## 2 報 告

報 告 第 6 号

教育委員会5月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第6号について御意見を伺います。  
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

## 3 議 案

議 案 第 2 3 号

日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。  
議案第23号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長

日立市立小中学校学区審議会委員に欠員が生じたので、新たに委員を委嘱するものです。

新しい委員の任期は、平成28年6月30日から、前任者の残任期間の期限である平成29年6月30日までです。

各団体の役員改選等に伴い、新たに6人の委員を委嘱し、全体の委員数は合計で20人となります。

(本件については原案どおり可決されました。)

**議案第24号 日立市社会教育委員の委嘱について**

**委員長** 次に、議案第24号について生涯学習課長から説明をお願いします。

**生涯学習課長** 日立市社会教育委員は、平成28年6月30日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。

委員の任期は、平成28年7月1日から平成30年6月30日までです。

委員は合計で16人となり、そのうち8人の委員が新任となります。

(本件については原案どおり可決されました。)

**議案第25号 日立市立図書館協議会委員の任命について**

**委員長** 次に、議案第25号について記念図書館長から説明をお願いします。

**記念図書館長** 日立市立図書館協議会委員に欠員が生じたので、新たに委員を任命するものです。

新しい委員の任期は、平成28年6月30日から、前任者の残任期間の期限である平成29年8月31日までです。

日立市教育研究会学校図書館教育研究部長の改選に伴い、新たに1人の委員を委嘱し、全体の委員数は合計で9人となります。

(本件については原案どおり可決されました。)

**議案第26号 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱について**

**委員長** 次に、議案第26号について、宮田調理場長から説明をお願いします。

**宮田調理場長** 日立市学校給食共同調理場運営審議会委員に欠員が生じたので、新たに委員を委嘱するものです。

新しい委員の任期は、平成28年6月30日から、前任者の残任期間の期限である平成29年7月31日までです。

小中学校PTA連合会の役員改選に伴い、新たに2人の委員を委嘱し、全体の委員数は合計で15人となります。

(本件については原案どおり可決されました。)

## 4      そ の 他

### (1) 平成28年第2回市議会定例会について

**委 員 長**      続きまして、その他に移らせていただきます。  
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

**教 育 部 長**      平成28年第2回市議会定例会について、説明します。  
会期は、6月2日から6月17日までの16日間です。  
教育委員会関連の一般質問、議案質疑等の内容についてです。  
まず、一般質問については、2人の議員から質問がありました。  
1人目の伊藤 智毅議員からは、2項目の質問がありました。  
1項目目は、2019年茨城国体についてで、2点の質問がありました。

1点目は、茨城国体を契機に、市内のスポーツ施設の整備をどのように進めようとしているのかについてです。

国の交付金を受けるために必要な長寿命化計画の策定を検討しており、計画には、スコアボードやバックスクリーンの改築などを盛り込んでいきたいと考えていることや、その他のスポーツ施設についても、長寿命化計画を踏まえて、整備構想、整備計画の策定を検討していくことを答弁しました。

2点目は、国体種目となる4種目を始め、スポーツのすそ野を広げ、競技人口を増やすためにも、施設整備とともにソフト的な多様な仕掛けが必要ではないかという質問でした。

これに対しては、茨城国体は、スポーツ全体の普及や競技人口拡大の好機であるため、市内小中学生にも国体競技を観戦する機会を設けるなど、多様な仕掛けを検討していくほか、東京オリンピック事前キャンプや全国大会等の誘致などにも取り組み、トップレベルの競技を観戦する機会を創出していきたいと考えている旨、答弁しました。

2項目目は、青少年への政治教育と選挙教育についての質問です。

小中学生への政治教育や選挙教育について、どのように組み立て、実践しており、その効果や課題は何か、また、教職員への研修や、家庭・地域との連携をどのように進めていくのかという内容の質問でした。

これに対しては、小学6年生と中学3年生の社会科等の学習のほか、情報を整理して自分の考えを持ち、判断し、異なる意見を調整して一定の結論を見いだす学習や、選挙管理委員会の出前授業、実際の投票箱や記載台を用いた生徒会の役員選挙などの取組を行っていることを伝えた上で、課題としては、児童生徒が地域の課題を取り上げ、問題の把握や分析、提案などを行うことにより、まちづくりに参加するといった意識を深める機会を増やことであると考えており、児童生徒が将来の投票や政治参加に自己決定ができるような学習の充実に努めるとともに、関係科目等についての教員研修を行い、授業の質の向上に努めていく旨を答弁しました。

2人目の、小林 真美子議員からの質問についてです。

広島県の中学3年生が自殺した問題について、3点の質問がありました。

1点目は、学校教育における進路指導とはどのような指導かというものです。

これに対しては、就職・進学後の生活を生徒自身にとってより良いものとするために、進路選択への助言や支援を行うことが、学校教育における進路指導であるということを答弁しました。

2点目は、本市における進路指導の進め方はどのようなものかというものです。

これに対しては、「未来パスポート」を活用して自己肯定感を高め、自信を持って未来を切り拓いていける子どもたちの育成に努めていることや、多くの教員が進路指導をサポートし、生徒自身が希望する進路を尊重した支援を行っていることを説明した上で、引き続き、正確な情報管理を行うとともに、生徒が自分で選択し決定したという気持ちを持つ進路指導を進めていく旨答弁しました。

3点目は、本市の自殺防止について、見解を伺うというものです。

これに対しては、日々の観察や定期的なアンケートにより、支援を必要とする児童生徒の情報を全教職員が共有するとともに、教育相談員やスクールカウンセラーの活用や、関係機関との緊密な連携により命を守る「危機対応」に努めており、また、「いいとこ発見夢づくり」の理念をもとに、児童生徒の自己肯定感を高めることを基本として、お互いを認め合える心の教育を進めており、助産師や医師を講師とした「いのちの教育」を実施するなど、「予防活動」を行っている旨答弁しました。

続いて、議案質疑については、2人の議員から質問がありました。

1人目の高安 博明議員からは、2つの議案について質問がありました。

まず、平成28年度日立市一般会計補正予算のうち、教育費 体育施設費 社会体育施設整備事業費について、2点の質問がありました。

1点目は、長寿命化計画策定の必要性についてです。

これに対しては、一般質問で答弁したとおり、国の交付金を受けするためには、長寿命化計画の策定が要件となっていることから、策定を行うこととしたものである旨答弁しました。

次に、委託内容について伺うというものです。

長寿命化計画策定に当たっては、施設の構造材等の劣化の状態等を調査し、改修の緊急度を判定するとともに、補修の方法、時期、費用等を計画に盛り込む必要があり、そのための業務を委託する予定である旨答弁しました。

次に、市民運動公園の指定管理者の指定について、3点の質問がありました。

1点目は、ミズノスポーツサービスの運営実績について伺うというものです。

ミズノスポーツサービスは、ミズノグループのスポーツ施設運営専門会社として、直営15施設、指定管理36施設で、施設管理やスポーツ教室の開催、トレーニングルームの運営などの実績がある旨答弁しました。

2点目は、日立市体育協会とミズノスポーツサービスの業務分担についてです。

これに対しては、2者の業務分担を明確に決めているわけではないが、体育協会の地域に根ざしたスポーツ振興の実績と、ミズノスポーツサービスの施設管理のノウハウ、トップアスリートによるスポーツ教室の開催、トレーニングルームの運営など、豊富な実績を生かした管理運営を期待している旨答弁しました。

3点目は、池の川さくらアリーナでのコンサート開催など、文化的事業にどのように取り組むのかという質問です。

これに対しては、交流人口拡大のための文化イベントやスポーツ大会等の誘致などへの取組が提案されており、運営に当たっては、文化イベント事業に実績がある日立市民科学文化財団などとも連携した、積極的な取組を期待している旨答弁しました。

2人目の三代 勝也議員からも、2つの議案について質問がありました。

まず、平成28年度日立市一般会計補正予算のうち、教育費 体育施設費 社会体育施設整備事業費についてで、補正に至った経緯についての質問でした。

長寿命化計画策定のための経費については、昨年、国に予算を要望していたところであったが、採択が不透明であったことから、当初予算には計上せず補正予算で対応することとしており、その後、本年4月に、国から交付金の内示を受けたので、今回補正予算を提出したものであるという旨を説明しました。

次に、市民運動公園の指定管理者の指定について、2点の質問が

ありました。

1点目は、募集の経過と公募の理由について伺うというものです。

これに対しては、池の川さくらアリーナは、スポーツのみならず様々なイベント等に活用できる施設であり、それらの機能を最大限に発揮できるノウハウを持った事業者管理業務を委託したいとの考えから、指定管理者を公募することとした旨答弁しました。

2点目は、選定の理由と期待する効果についてです。

これに対しては、それぞれの得意とするところを分担し、施設運営に当たることで、池の川さくらアリーナを含めた各種施設の特性を十分生かした運営や、地方創生につながる事業の展開が期待できるものと判断したためである旨答弁しました。

最後に、教育福祉委員会についてです。

委員会では、池の川さくらアリーナの現地調査を行ったあと、2つの議案について審査していただきました。

## (2) 第6次行財政改革の推進状況（平成28年3月31日現在）について

**委員長** それでは次に、その他(2)について、教育部長から説明をお願いします。

**教育部長** 第6次行財政改革の推進状況について、説明します。

まず、平成27年度における推進事項の取組状況についてです。

平成26年度までに完了した事業は、市全体としては14件、そのうち教育委員会としては4件となっています。

また、平成27年度までには、市全体として12件、教育委員会として2件の事業が完了しました。

なお、平成28年度に完了予定となっている事業は、市全体で8件、そのうち教育委員会は7件であり、これにより、推進事項の全取組項目数83件のうち、継続して取り組むこととしている49件以外の事業が完了する予定となっています。

次に、財源確保額等の状況です。

財源確保額は、市全体で8億1,659万3千円であり、そのうち8億1,467万1千円がふるさと寄附金となっています。

経費削減額は、市全体で1億6,449万8千円であり、そのうち教育委員会としては、8,559万9千円の経費を削減しました。

今後の取組についてですが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に登載した事業が本格的に動き始めている状況を踏まえ、まちに活力を与える事業についても、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



続いて、教育委員会が所管する推進事項についてです。

平成27年度に完了した事業及び継続事業について説明します。

「学校教育における地域人材の活用」についてです。

外部人材に関する学校のニーズを把握し、そのニーズに沿った地域人材の確保に努めるとともに、学校が地域人材を活用しやすいよう、適確な情報提供をしていくものです。

平成27年度は、日本語を話せない児童生徒の学校における通訳支援を始め、日立市地域医療協議会との連携による助産師、医師等による「いのちの教育」、日立市体育協会との連携による水泳学習、陶芸家との連携による図工の授業支援などを行ってきました。

引き続き、学校のニーズに沿った地域人材を確保できるよう、関係機関との連絡調整を進め、適確な情報提供をしていきます。

「家庭教育事業の充実」についてです。

この事業は、平成27年度に完了したものです。

日立市子どもセンターの開設を契機としまして、生涯学習課の家庭教育事業と子ども局の子育て支援事業との再編を行い、「家庭教育サポーター」を「親と子のサポーター」に改称し、センターに常駐させて相談業務の充実を図るとともに、事業として地域家庭教育支援に関わる講演会を開催しました。

「有料広告事業の推進」についてです。

教育委員会では、体育施設について、有料広告導入により、施設の修繕等の費用の財源確保を図るものです。

平成27年度は、池の川さくらアリーナの完成に合わせ、募集方法や実施方法など、詳細の検討を進めてきました。

「スポーツ広場等の在り方の検討」についてです。

市内のスポーツ広場、市民広場などの施設の設置目的と利用状況、競技団体や市民ニーズ等を踏まえ、施設の存廃等を含めて、今後の在り方を検討するものです。

平成27年度は、公共施設マネジメント前期行動計画を策定し、施設ごとの方針及び計画修繕の方針を定めました。

併せて、池の川さくらアリーナを含む、市民運動公園の指定管理者の公募を行ったところです。

「図書館の館外サービスの見直し」についてです。

館外サービスについては、移動図書館車の運行、交流センターへの配本、団体貸出しを実施しているところですが、より効果的で、市民ニーズに対応した館外サービスの検討と導入を進めるものです。

平成27年度は、交流センター図書室の配本を年2回から毎月1回に拡充したり、移動図書館車のステーションを拡充したりするなど、更なる活用の検討を図ったところです。

「視聴覚センターの機能向上」についてです。

視聴覚センターでは、上映会、イベント、研修会等の効果的な実施、映像作品等の発表の機会と場の提供など機能向上に努めています。

上映会「ひたちシネマ」については、来場者のニーズに合わせた作品の選定、上映方法、形態等の見直しを図るなど、今後も更なる検討を重ね、利用者のニーズに応えられる事業展開を目指し、来館者の増加につながるよう努めていきます。

「出資法人等の経営健全化促進」についてです。

教育委員会が所管するのは、公益財団法人日立市体育協会です。

平成27年度は、民間が指定管理を行う施設の視察や情報交換を行ったほか、経費削減、施設の人員配置、自主事業の実施方法等について、調査・研究を行ったところです。

今年度は、池の川さくらアリーナの完成を見据えた、市民運動公園のより効率的な施設管理や運営方法、市民サービスの向上などを検討していきます。

「職員流動体制の推進」についてです。

平成27年度は、「郷土博物館40周年記念式典」に6人、「日立市名誉市民 故瀬谷義彦氏市葬」に131人中、教育委員会は21人の職員を流動しました。

「教員研修事業の見直し」についてです。

本事業は、平成27年度に完了したものです。

教職員一人一人の資質向上のため、教員研修事業を再構築し、ライフステージに応じたコースや受講期間、実施日時及び研修内容等を見直すことにより、参加率を高め、下記教職員研修参加率の当初目標56%を達成しました。

引き続き研修内容、実施日程を精査し、参加しやすい、効果的な研修の充実を図っていきます。

**委 員** 職員の仕事量は減っていないという話を聞きます。

職員一人一人の業務を減らしていかないと、仕事に追われている状況になってしまうのではないかと感じます。

**総 務 課 長** 仕事量はむしろ増えているのではないかと感じますが、職員数は減っています。

その分、非常勤職員、再任用職員、臨時職員の採用等により対応していますが、全体的に職員の負担は増えていると考えています。

そういった中で、業務委託できるものは委託することで業務の効率化を図ったり、課所内で効率的な事務の進め方を調整した上で、水曜日は定時で退庁する、土日祝日の出勤は極力控える、夏季休業期間中は連続して休暇を取得してリフレッシュをするなどの切り替えを徹底するよう指示したりしています。

いずれにしても職員の健康が第一ですので、十分に注意しながら、各課で連携を図り、事務の軽減を進めていきたいと考えています。

**学 務 課 長** 学校の教職員についても、仕事量は増えているというのが実情だと思います。

授業の準備、打合せ等の時間は必要なものですが、調査・報告書類の作成については、負担であるといった声も教職員から出ています。

しかし、成果をまとめて次に生かすために必要だという意識を持つことにより、負担感を軽減することができます。

そういった意識付けについては、今後も努めていきたいと思っています。

### (3) 平成27年度審議会等の開催状況について

**委 員 長** それでは次に、その他(3)について、総務課長から説明をお願いします。

**総 務 課 長** 教育委員会が設置している10の審議会や委員会などについて、平成27年度の開催状況を報告します。

「奨学生選考委員会」は、例年どおり、奨学生の選考を行うために、3月に開催いたしました。

「小中学校学区審議会」は、昨年度は、教育委員会からの諮問がなかったことから、開催はしませんでした。

「心身障害児就学指導委員会」は、6回の会議を開催し、心身障害児の適正な就学先などについて、審査等を行いました。

なお、委員会の名称については、本年3月に条例を改正し、4月1日から「日立市教育支援委員会」に変更しております。

「社会教育委員会」は、規則に基づき4回の会議を開催し、教育委員会に提出する「提案書」を作成するためのアンケート調査などの審議を行いました。

「いじめ調査委員会」は、2回の会議を開催し、本市におけるいじめの状況等について、事例を確認し、対策等について検討を行いました。

「文化財保護審議会」は、1回の会議を開催し、平成27年度の事業報告を行いました。

「郷土博物館協議会」についても1回の会議を開催し、平成27年度の事業報告を行っております。

「市立図書館協議会」は、2回の会議を開催し、平成26年度の

事業報告などを行うとともに、「館外サービスの見直し」や「子ども読書活動推進計画」について、審議を行いました。

「視聴覚センター運営委員会」は、2回の会議を開催し、平成26年度の事業報告を行うとともに、平成27年度の事業などについて、審議を行いました。

「学校給食共同調理場運営審議会」は、教育委員会からの諮問がなかったことから、開催はいたしませんでした。

#### (4) 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について

**委員長** それでは次に、その他(4)について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について、説明します。

学校の夏休み期間中に実施する事業を、日付ごとにまとめ、また、課所ごとに整理しました。

委員の皆様には、お忙しいこととは思いますが、御出席が可能な行事がありましたら、是非、会場まで足をお運びくださるようお願いいたします。

#### (5) 社会教育委員会議からの提案書について

**委員長** それでは次に、その他(5)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

**生涯学習課長** 社会教育委員会議からの提案書について、説明します。

社会教育委員会議は、社会教育法の規定を受けて市の条例によって設置しているもので、社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会からの諮問への意見、その他必要な調査研究を行うものです。

その社会教育委員会議において調査研究を行ってきた成果として作成された提案書の提出がありましたので、説明するものです。

まず、提案書のテーマについてです。

子どもたちが「生きる力」を備え、自立した個人の育成を図っていくには、子ども時代に多くのことを体験することが重要であり、各地で色々な活動が展開され、様々な経験を積んでいる子どもたちがいます。一方で、必ずしも有意義に過ごせていない子どもたちも存在するため、子どもの地域での豊かな体験活動を実現する必要があるとの認識から、テーマを「本市における子どもの地域での体験

活動の充実に向けて」に設定しました。

会議においては、各委員が子どもの体験活動に対する意見を述べるとともに、小学5年生及びその保護者各782人へのアンケート調査を行い、その結果などから、本市における特徴と課題を抽出しました。

アンケート調査の結果は、子どもの地域での体験活動の機会が多く、地域コミュニティや子ども会などの諸団体が工夫を凝らした事業を行い、参加している子どもの満足度も高いものでした。

一方で、子どもと親の多忙化、地域活動に対する理解や情報の不足もあり、地域活動離れの傾向も見られました。

アンケート結果から、課題として、広報活動の検討、地域連携の検討、親の負担感の増加、魅力ある体験活動機会の不足の4点が挙げられ、各課題に対する対応策として具体的な事例が委員から出されました。

これらの意見を大きくまとめ、「子どもたちの地域活動の方向性」と「活動に当たっての地域のサポート」といった2つの視点での提案としてまとめられています。

提案の1つ目は、「子どもたちの力を活用するために」としたもので、2つの取組について提案しています。

まず、子ども地域ボランティアの育成と活用です。

これは、ボランティアとして、地域の中学生、高校生、大学生を活用しようとするもので、事業の主催者は、ボランティアを受け入れる環境や役割を意識して事業を行い、併せて、ボランティアに対する基本的な学習機会を設けるなど、子どもに近い世代が地域の事業活動に積極的に取り組める環境を充実する必要があるとしています。

次に、子どもたちが企画・運営・振返りができる事業の実施です。

これは、子ども自身が地域の大人と一緒に事業企画や情報発信などの運営に関わり、単なる参加者ではなく当事者としての意識を持つことで、より魅力ある体験活動にしようとするものです。実施に当たっては、地域の大人や子どもに対する研修機会を設ける必要もあるとしています。

提案の2つ目は、「地域活動の格差を解消するために」としたもので、3つの取組を提案しています。

まず、地域での子どもの学びや体験活動の充実です。

これは、地域の諸団体が多くの事業に取り組んでいることにより、日程の重複などから、結果的に子どもの取り合いになるという状況も見受けられるため、団体間で、情報交換、事業協力・連携を図ることのできる場の設定が必要であるとしたものです。

次に、地域づくりコーディネーターの設置・養成です。

これは、先の提案のような地域の課題を解決するための仕掛人と

して、また、家庭の事情等で地域活動に参加できない場合のサポートなども期待するもので、設置及び育成のための講習が必要であるとしています。

次に、効果的な情報発信のための広報活動の充実です。

これは、「事業自体を知らない」、「どんなことをしているか分からない」、「楽しそうでない」などの意見を受けての取組で、各地域での効果的な広報活動に加え、1つ目の取組における情報交換の場などを利用して、情報を集約し、一元管理する体制づくりをすることも検討する必要があるとしているものです。

以上2つの視点から、5つの取組の提案をいただきましたので、本市における、今後の生涯学習の推進に生かしていきたいと考えています。

**委 員** 提案書は、各地域や学校に情報提供されるのですか。

**生涯学習課長** 提案書の冊子を配布する予定はありません。

平成26年度から、コミュニティつながりアップ講座を開催し、各コミュニティ推進会の生涯学習担当者との定期的な会合を行っていますが、そういった場を活用して、各地域との役割や取組の方針等について、擦り合せを行っていききたいと考えています。

**委 員** 提案書の内容については、確かにそのとおりであると感じますが、実際にこの提案に基づいた取組を行っていくのは難しいのではないかと感じます。

現在、保護者や会社員、公務員など、皆が多忙であるため、子ども会、PTA、町内会などがあまり機能していない状況です。

そういった中で、コミュニティ推進会は、「活動したくても人材不足でできない」というのが実情ではないでしょうか。

提案の内容を実現できるように、検討していただければと思います。

## (6) 学校プール開放事業について

**委 員 長** それでは次に、その他(6)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

**スポーツ振興課長** 学校プール開放事業について、説明します。

本事業は、小学生を対象に水に親しむ機会を提供することにより、健康・体力増進を図るため、公共プールが設置されていない多賀地区において、学校プールを開放するもので、かねさわ市民プー

ルが使用できなくなった平成24年度から実施しているものです。

開放校は、塙山小学校と大沼小学校の2校で、対象者は、市内小学校に通う小学1年生から小学6年生までです。

塙山小学校では、7月21日（木）から8月10日（水）までの土日を除いた15日間、大沼小学校では、7月21日（木）から8月3日（水）までの土日を除いた10日間、開放します。

周知方法として、7月上旬に、成沢、諏訪、油繩子、大久保、塙山、河原子、金沢、大沼、水木、大みか小学校に案内のチラシを配布します。

## (7) 学校評議員の委嘱状況について

**委員長** それでは次に、その他(7)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 学校評議員の委嘱状況について、説明します。

本事業は、市内の各学校において学校評議員会議を設置し、学校運営についての多様な意見等を幅広く求めることにより、地域に開かれた学校づくりを一層推進するため、実施しているものです。

実施対象は、市立小・中・特別支援学校、幼稚園及び認定こども園です。

本年度は、小学校125人、中学校・特別支援学校81人、幼稚園・認定こども園50人の合計256人を、学校評議員として委嘱しました。

**委員** 現在、日立市では、幼・小・中連携に取り組んでいますが、評議員間での連携は行われていますか。

**指導課長** 評議員となるような地域の方々や、PTA、学校の教員などが中学校区ごとに集まり、生徒指導について協議する連携協議会というものがあります。

**委員** 評議員の方々にも、連携が大事であるということを理解していただく必要があると思いますので、年間に2、3回行われている評議員会のうち1回は、幼稚園・小学校又は小学校・中学校合同で行っても良いのではないかと思います。

**指導課長** 評議員の中には、重複して委嘱されている方も多くいらっしゃいますので、小学校の評議員会で出た意見を中学校の評議員会で伝えるなど、連携を図っているところです。

## (8) 教育振興大会の開催について

**委員長** それでは次に、その他(8)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 教育振興大会の開催について、説明します。

本事業は、市内幼・小・中・特別支援学校教職員及びPTA会員が一堂に会し、永年勤続及び日頃の教育実践研究の成果をたたえとともに、教育の今日的な課題を捉え、より望ましい教育の在り方を研修することにより、本市教育の振興を図るため、実施するものです。

今年度は、平成28年8月3日(水)に、日立市民会館において開催します。

当日は、永年勤続者37人の表彰や、各種研究発表、そして、株式会社てっぺん代表取締役の大嶋 啓介氏による教育講演会を行います。

## (9) 市立図書館各館の「子育て支援コーナー」開設について

**委員長** それでは次に、その他(9)について、記念図書館長から説明をお願いします。

**記念図書館長** 市立図書館各館の「子育て支援コーナー」開設について、説明します。

子育て支援コーナーは、日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組として、子育て支援を強化するため、おはなし会等に参加する就学前の子を持つ親子などを対象に、子育て情報等の提供を通して「遊べる・学べる・解決できる」ワンストップサービスを行うため、設置するものです。

図書館を、就学前の子を持つ母親たちが、子育て情報の交換・悩みを相談し合うことができる集いの場として提供することを目的としています。

子育て支援コーナーの内容についてです。

7月1日(金)に、4館一斉に開設し、妊娠、出産、保育、育児書等と、本市の子育て情報等のパンフレット等を集中配置して、利用者へのワンストップサービスを行います。

また、児童書コーナー付近に「子育て支援コーナー」を設置し、子どもに目の届くところで、親も子育てに関する図書や、市内施設等の情報誌をゆっくり、安心して見られるように整備することで、



子育て世代にやさしい図書館の構築を図ります。

なお、7月1日（金）には、多賀図書館において、子育て中の親子や、子育て支援に関わる市及び団体の関係者を招いて、オープン式典を開催します。

#### (10) 平成28年度学校給食夏休み親子見学会について

**委員長** それでは次に、その他(10)について、宮田調理場長から説明をお願いします。

**宮田調理場長** 平成28年度学校給食夏休み親子見学会について、説明します。  
親子見学会は、児童と保護者を対象として、夏休みに調理場を見学していただき、模擬体験や食に関する啓発活動などを通じて、食生活のあり方や学校給食に対する理解を深めてもらうために実施するもので、今年で11回目となります。

内容としては、場内の見学や調理体験、食育コーナーの見学と体験、デザート等の試食など、例年と同じように、親子が楽しく学校給食を理解できる企画となっています。

日時については、宮田調理場が7月27日（水）午前9時30分から正午まで、南高野調理場が7月28日（木）午前9時から11時30分まで、十王調理場が7月29日（金）午前9時から正午までとなります。

また、対象については、それぞれ施設の規模などにより異なり、南高野調理場のみ中学生についても対象としています。

#### (11) その他

**委員長** それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

**生涯学習課長** ラジオ体操でげんき事業について、説明します。

本事業は、朝、体操をすることにより、子どもたちの健康を保ち、加えて、リズムが乱れがちな長期休業中の生活を規則正しく送ってもらうことも目的として実施するものです。

基本となる早寝、早起きを一人でも多くの子どもたちに実践してほしいと考えています。

事業の内容としては、子ども会を単位として、学校の夏休み期間中に10日以上ラジオ体操を実施した子ども会に参加賞を提供するものです。

4月から事業参加を呼びかけてきましたが、市内117の単位子ども会中、ラジオ体操を実施する子ども会は76単会で、そのうち、

事業の対象となる10日以上実施する子ども会は、22単会にとどまっています。実施日が4日未満の子ども会が44単会と、体操を実施する子ども会の半数を超えている状況にあり、この事業を契機とした子ども会のラジオ体操への取組の拡大を図る必要性を改めて感じたところです。

ラジオ体操は、日立市出身の遠山喜一郎氏が考案したものであることから、年間を通したラジオ体操の奨励についても、関係課と検討していきたいと考えています。

**委員** 横浜市のあるいくつかの公園では、毎朝6時30分にラジオ体操が放送されるという話を聞きました。

日立市でラジオ体操を啓発するための参考になるのではないかと思います。

**委員長** その他、何かありますか。

**生涯学習課長** 第59回桐生市臨海子ども会について、説明します。

桐生市臨海子ども会は、子どもたちに海に親しむ機会を与え、団体行動を通して生活指導を行い、子どもの健康増進と健全な子ども会発展に寄与することを目的として、桐生市、桐生市教育委員会、桐生市子ども会育成団体連絡協議会が主催し、実施するものです。

臨海子ども会は、河原子海水浴場において、7月22日（金）から26日（火）までの5日間、2団編成の2泊3日で行われます。

また、日立市の歓迎行事として、7月22日（金）の午前11時50分から、桐生市臨海子ども会歓迎式典を河原子小学校で開催します。

さらに、22日（金）と24日（日）の午後7時から午後8時半まで、桐生市と日立市の子どもたちが合同でキャンプファイヤー等を実施し、交流を深める予定となっています。

**スポーツ振興課長** 第87回都市対抗野球大会について、説明します。

日立市代表として出場した日立製作所野球部が、北関東予選を全勝で通過し、2年連続35回目の本大会への出場を決めました。

本大会における日立製作所の初戦は、7月20日（水）の午後6時から、神戸市・高砂市代表の三菱重工神戸・高砂と、東京ドームで対戦します。

なお、本大会に向けた壮行会を、7月6日（水）の午後6時から、日立シビックセンターで開催します。

また、本大会当日は、東京ドームのオーロラビジョンで日立市のプロモーションビデオを放映するとともに、物産品の販売ブースを設置し、日立市のPRを行う予定です。

さらに、パブリックビューイングを、シビックセンターアトリウムで実施する予定です。

**郷土博物館課長** 特別展示「古代ひたち人の暮らし」について、説明します。  
本展示は、7月16日から9月4日まで行うもので、市内発掘調査で得られた資料を基に、古代の日立市域に生きた人々の暮らしを再現して紹介するものです。  
また、関連行事として、「笑う縄文人―石棒を「作る」「祈る」「壊す」―と題した記念講演、博物館学芸員による展示解説「ギャラリートーク」、本物の土器や石器に触れたり、古代の編物づくりを体験する「わくわく古代体験!」、そして、「いにしへの“造る”」と題した遺跡見学会を実施します。

## (12) 次回の教育委員会の日程について

**委員 長** それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

**総務課長** 平成28年7月29日(金)に、日立市教育プラザギャラリーBで午後1時30分から開会予定です。

5 閉 会 午後4時55分

**委員 長** それでは、以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了します。